

第16回「核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める

医師・医学者のつどい」 御中

メッセージ

憲法9条を改悪し、日本を戦争する国にしようという動きが高まっているなか、「核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい」を毎年開催されてきた、みなさまの献身的なご奮闘に、こころから敬意を表します。

みなさまにもご協力をいただいた「いま、核兵器廃絶を」署名は、いま500万を超え、ことしの原水爆禁止世界大会がかかげた「核兵器のない平和で公正な世界」にむけて大きな力を発揮しつつあります。

核兵器廃絶に逆行する核大国アメリカの新たな核開発や、核使用政策などに対して、非核国政府、自治体、NGO、草の根が共同して国連総会や24日からの国連軍縮週間にむけ、運動を強めていく必要があります。

日本原水協は創立50周年をむかえました。みなさんとともに築きあげてきた、半世紀の到達点に立ち、核兵器廃絶への新たなうねりを発展させ、核戦争阻止、核兵器廃絶、被爆者援護・連帯の、3つの基本課題実現のためともに奮闘しましょう。

第16回目をつどい成功へ、全国からお集まりの医師・医学者のみなさんが活発な討論をくりひろげられるとともに、核兵器廃絶へのとりくみを前進させることを期待しメッセージとします。

2005年10月22日

原水爆禁止日本協議会